

小松耕輔 （おまつの） 音楽評論家、作曲家。明治十七年十一月十四日秋田

縣生れ、昭和四十一年二月二日没（八六—九六）。號つゆまろ、玉巖。

東京音楽學校卒。明治二十九年本邦初のオペラ「羽衣」を作る。大正

九年歐洲留學。學藝院、東京女子高等師範學校、お茶の水女子大學各

教授歴任。大日本作曲家協會總務理事長、國民音楽協會理事長等を務

めた。

著書『世界音楽通路』（大正十二年八月二十日アルス）、クレエビニ

ル著『西洋音楽の聴き方』（譯、大正十二年十一月十五日アルス）、

『童謡作曲法』（大正十五年一月一日アルス）、『邦譯歌詞問 題の前後』 編輯・

批判篇』（合著・永井郁子編、大正十五年六月十八日廣泉堂）、『樂

譜の見方』（昭和七年十月二十八日誠文堂『誠文堂文庫』）、『宮道

藝術論』（合著・永野止人編、昭和十六年十月五日日本大學藝術科學

園）、『ゴッロー』（昭和十八年九月二十八日共益商店書店『樂聖傳記

叢書』）、『音楽の構成と鑑賞』（昭和十九年二月十日學友社『國民

學藝叢書』、再刊・二十一年九月二十日學友社）、『シユータン』（昭

和二十二年一月二十五日全音楽譜出版社『世界音楽家傳記叢書』）、

『音楽史の教へ方』（内題『西洋音楽史の教へ方』昭和二十二年四月

十日音楽之友社『新音楽教育叢書』）、『モーツァルト』（昭和二十

二年七月二十五日全音楽譜出版社『世界音楽家傳記叢書』）、『ミン

トーヴェン』（昭和二十四年七月二十日全音楽譜出版社）、『懐しの

メロデー』音楽家の回想』（昭和二十二年五月二十日又藝春秋新社）、

『わが思ひ出の楽壇』（昭和二十六年十月二十日音楽之友社）等。

編書、小松公子著『公子日記一付・歌稿』（昭和二十八年九月十日小

